

「災害時の緊急連絡体制」についてのアンケート

8/27

災害時の緊急連絡体制についての現状を把握いたしましたく、アンケートにご協力をお願いいたします。該当する□にレ印および記入をお願いします。

貴施設の所在地（東京都）都・道・府・県

＜施設の被災経験の有無＞

1. 過去（1995年以降）に血液透析療法を中断あるいは延期・透析依頼するような被災を経験、あるいは透析患者引き受けの経験が有りますか？

(1) 被災経験有り

①（1995）年 ② 災害名（雪害 台風 地震・水害など）

③ 経験の種類（□ A. 血液透析の中止 □ B. 延期 □ C. 依頼）

(2) 透析患者引き受けの経験あり

①（1995）年 ② 災害名（雪害 地震・水害など）

(3) 無し

＜危機意識の程度＞

2. 災害の規模、地域などの把握はマスメディア（テレビ等）に頼らなければなりませんが、個別の情報を得るには電話が頼りです。しかし、災害時に電話も被災しますし、輻輳（大量の電話が短時間に一時的に集中した状態）の為に「通信規制」もかけられます。そこで、施設の対応として地震などの災害時の連絡体制全般について、どう感じておられますか？

(1) 職員の安否確認（ ① 非常に不安 □ ② 不安 □ ③ やや不安 □ ④ 不安はない）

(2) 患者の安否確認（ ① 非常に不安 □ ② 不安 □ ③ やや不安 □ ④ 不安はない）

(3) ライフラインの被災情報入手

（ ① 非常に不安 □ ② 不安 □ ③ やや不安 □ ④ 不安はない）

(4) 透析施設間の連絡体制

（ ① 非常に不安 □ ② 不安 □ ③ やや不安 □ ④ 不安はない）

(5) 関連行政機関との連絡体制

（ ① 非常に不安 □ ② 不安 □ ③ やや不安 □ ④ 不安はない）

＜職員の安否確認＞

3. 医療スタッフの安否

(1) 必ず連絡して来るよう周知徹底している

(2) 当人は連絡できないかもしれないから連絡する

(3) 「参集基準」に従って参集することに決めている

この場合の基準は、

① 震度3 ② 震度4 ③ 震度5 ④ 震度6弱 ⑤ 震度6強以上

- (4) 検討中である
 (5) まだ何も決めていない

4. 上記3. の答えが(1)の場合、その連絡先は、

- (1) 院長
 - (2) 所属部の責任者
 - (3) 事務長
 - (4) 特に指定していない（医療機関へ連絡する）
 - (5) その他（）

5. 上記3. の答えが(1)の場合、その方法は(複数回答可)

6. 上記3. の答えが(2)の場合、以下のどの方法を用いることにしていますか？(複数回答可)

- (1) 固定電話 (① 災害時優先である ② 災害時優先でない)

(2) 携帯電話 (① 災害時優先である ② 災害時優先でない)

(3) アマチュア無線

(4) トランシーバ

(5) 携帯電話（メール）

(6) 携帯電話各社の「災害用伝言板サービス」

(7) 衛星電話・衛星携帯電話

注) 災害時優先電話： 災害の救援、復旧や公共の秩序を維持するため、災害時に優先的に取扱うように、法律に基づいてあらかじめ指定を受けている固定電話及び携帯電話。 病院の固定電話については申請すれば優先扱いとなるが、携帯電話については電話会社や県によって対応が異なっている。

7. 上記3. の答えが(2)の場合の発信者は、具体的には誰ですか？(複数回答?)

- (1) 医師 (2) 看護師 (3) 臨床工学技士
 (4) 事務職 (5) 各部署の責任者で分担
 (6) その他 ()

8. 貴院の固定電話は災害時優先の登録をしていますか？

- (1) はい (2) いいえ

9. 貴院の責任者（院長など）の携帯電話は災害時優先の登録がなされていますか？

- (1) はい (2) いいえ

10. 貴院内にアマチュア無線の資格者がいますか？

- (1) はい (2) いいえ

注) アマチュア無線は災害時や人命救助にも大いに活躍している。1995 年の阪神・淡路大震災において交通網や通信回線が寸断されたとき、早期に現地の被害状況を伝えたのはアマチュア無線であった。近く起こると言われている東海大地震などの災害に備えて、各都道府県あるいは市町村など地方自治体では、J A R L の支部や地元のアマチュア無線クラブなどへ災害発生時の協力の要請ができるよう、協定を締結しているところがある。

11. 10. の答えが(1)の場合、地域のアマチュア無線ボランティアと災害時の協力について事前に話し合いを行ったことがありますか？

- (1) はい (2) いいえ

＜患者への連絡体制＞

12. 貴院の患者への連絡網がありますか？（複数回答可）

- (1) 透析施設側で作成している
 (2) 患者の会（腎友会）で作成している
 (3) 都道府県透析医会で作成している
 (4) 「災害時要援護者」として行政が作成している
 (5) できていない

13. 上記 12. の設問の答えが(1)の場合、発信者は誰ですか？（複数回答可）

- (1) 主治医 (2) 看護師 (3) 臨床工学技士
 (4) 事務 (5) その他（ ）

14. 患者側の情報ツールを把握していますか？また日常診療に利用したり、あるいは情報伝達訓練をしていますか？

患者側の情報ツール	(1) 把握している	(2) 日常臨床に利用している	(3) 伝達訓練に利用している
固定電話番号	<input checked="" type="checkbox"/> (1) はい <input type="checkbox"/> (2) いいえ	<input type="checkbox"/> (1) はい <input checked="" type="checkbox"/> (2) いいえ	<input type="checkbox"/> (1) はい <input checked="" type="checkbox"/> (2) いいえ
携帯電話番号	<input type="checkbox"/> (1) はい <input checked="" type="checkbox"/> (2) いいえ	<input type="checkbox"/> (1) はい <input checked="" type="checkbox"/> (2) いいえ	<input type="checkbox"/> (1) はい <input checked="" type="checkbox"/> (2) いいえ
携帯電話のメールアドレス	<input type="checkbox"/> (1) はい <input checked="" type="checkbox"/> (2) いいえ	<input type="checkbox"/> (1) はい <input checked="" type="checkbox"/> (2) いいえ	<input type="checkbox"/> (1) はい <input checked="" type="checkbox"/> (2) いいえ
パソコンのメールアドレス	<input type="checkbox"/> (1) はい <input checked="" type="checkbox"/> (2) いいえ	<input type="checkbox"/> (1) はい <input checked="" type="checkbox"/> (2) いいえ	<input type="checkbox"/> (1) はい <input checked="" type="checkbox"/> (2) いいえ

15. 災害時に固定電話や携帯電話が輻輳で使いにくい場合、貴院の患者の安否確認に、以下のどの方法を用いることにしていますか？（複数回答可）

- (1) 災害時優先固定電話
- (2) 災害時優先携帯電話
- (3) 「災害用伝言ダイヤル 171」
- (4) 携帯電話各社の「災害用伝言板サービス」
- (5) メール（携帯電話、パソコン）
- (6) 行政（保健所、民生委員など）に頼む
- (7) 衛星電話・衛星携帯電話
- (8) まだ検討していない

＜情報伝達の手段：一斉連絡方法＞

16. 災害時に貴院の患者への「一斉連絡」が必要となることがあります、以下のどの方法を用いることにしていますか？（複数回答可）

- (1) 「災害用伝言ダイヤル 171」
- (2) 「災害用ブロードバンド伝言板（web171）」
- (3) メール（携帯電話、パソコン）
- (4) 行政に頼む
- (5) マスメディア（NHKなどテレビ、ラジオ）に依頼する
- (6) まだ検討していない

＜患者宅の位置把握＞

17. 情報機器が使えない状況を想定し、患者宅の位置を地図上で把握していますか？

- (1) 住居は地図上で把握している（全員）
- (2) 住居は地図上で把握している（一部の自力で動けない患者のみ）
- (3) GPSで確認している
- (4) 把握していない

＜避難場所・集合場所への連絡＞

18. 災害時に避難場所あるいは集合場所にいると考えられる貴院の患者への連絡には、以下のどの方法を用いることにしていますか？（複数回答可）

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> (1) (災害時優先) 固定電話 | <input type="checkbox"/> (2) (災害時優先) 携帯電話 |
| <input type="checkbox"/> (3) 公衆電話 | <input type="checkbox"/> (4) アマチュア無線 |
| <input type="checkbox"/> (5) トランシーバ | <input type="checkbox"/> (6) メール（携帯電話） |
| <input type="checkbox"/> (7) 衛星電話、衛星携帯電話 | <input type="checkbox"/> (8) 行政に頼む |
| <input type="checkbox"/> (9) 現地にスタッフを派遣する | |
| <input type="checkbox"/> (10) マスメディア（一般テレビ・ラジオ）に依頼する | |
| <input checked="" type="checkbox"/> (11) まだ検討していない | |

＜ライフラインの被災情報入手＞

19. ライフラインなどのインフラの被災状況の情報を入手する場合、以下のどの方法を用いることにしていますか？（複数回答可）

- (1) マスメディア（一般テレビ・ラジオ）
 (2) 行政への問い合わせ（情報コーディネータの派遣を含む）
 (3) 地区医師会
 (4) 地区透析医会ネットワーク
 (5) 日本透析医会ネットワーク
 (6) その他（ ）

＜関連行政機関との連絡；行政への協力依頼＞

20. 緊急時の水・電気確保・患者移送等のために、警察・消防・市町村災害対策本部・都道府県・都市医師会・都道府県透析医会・ライフライン各社・マスコミ等の連絡先・電話番号（担当部門、担当者）を把握していますか？（連絡名簿を防災マニュアルに掲載し、あわせて壁など目立つ場所に主要な連絡先を掲示する事が望ましい。）

連絡先	(1) 担当部門の電話番号を把握している	(2) 担当者の名前を把握している	(3) 事前に災害時の打合せを行ったことがある
警察署	<input checked="" type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ	<input type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ	<input type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ
消防局	<input checked="" type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ	<input type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ	<input type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ
水道局	<input checked="" type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ	<input type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ	<input type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ
電力会社	<input checked="" type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ	<input type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ	<input type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ
市町村 災害対策担当部署	<input checked="" type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ	<input type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ	<input type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ
都道府県・都市医師会	<input checked="" type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ	<input type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ	<input type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ
都道府県透析医会	<input checked="" type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ	<input type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ	<input type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ
マスメディア (一般テレビ・ラジオ)	^{**} <input checked="" type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ	<input type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ	<input type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② いいえ

＜透析機器メーカー、薬品メーカーへの連絡＞

21. 緊急時の医療機器・医薬品メーカー担当者・血液センターなどの連絡先一覧がありますか？

- (1) はい (2) いいえ

＜その他＞

22. 貴病院では災害時「救急治療」部門と亜救急的透析部門との役割分担について十分話し合いができますか？

- (1) できている (2) できていない

23. 以下の情報システム等について、知っているものの□にレ印をお願いします。

(名前程度でも可。複数回答可。)

- (1) 広域災害・救急医療情報システム^{注1)}
 (2) 防災用無線システム^{注2)}
 (3) 同報無線^{注3)}
 (4) 安否情報システム^{注4)}

注1) 1995年の阪神淡路大震災の後、病院がインターネット掲示板に受け入れ可能な患者数を入力する「広域災害・救急医療情報システム」が各県に設置されました。

注2) 国及び地方公共団体が非常災害時における災害情報の収集・伝達手段の確保を目的として、「防災用無線システム」を構築しています。

注3) 過去に津波・水害などの大災害のあった地域、東海地震警戒地域、原子力発電所などの原子力関連施設近辺では、住民に同報を行う放送（同報無線）があります。

注4) 災害用伝言ダイヤル、災害用ブロードバンド伝言板、IAA systemなど、災害時に電話がつながりにくい時に、安否情報を伝達するシステムがあります。

ご協力ありがとうございました。